

有名企業のベストプラクティスを利用して
コスト削減のPDCAを素早く構築

mcframe原価管理 オプション 損益管理テンプレート



マルハニチロと共同開発した

損益管理の成功事例を

企業が直面する課題

企業が市場での競争力を強化していくためには、活動実績となるデータをさまざまな切り口で分析し、それに応じた対策を講じて業務を改善していく必要があります。しかし、多くの製造業では原価管理や損益管理に次のような課題を抱えています。

課題1

分析に時間がかかっている

手作業によってさまざまなアウトプットから拾い集めたデータの集計や分析を行っているため、作成に膨大な時間がかかりタイムリーな分析ができない。

課題2

分析業務が属人化している

特定の担当者まかせになっていたり、複数の担当者ごとに異なる分析がなされていたりと、分析業務が属人化してしまっている。

課題3

PDCAの体制を構築できていない

実際原価計算結果の抽出や損益管理の業務負荷が大きく、本来やるべき改善策の検討・実行・検証がなされていない。

mcframe原価管理オプション「損益管理テンプレート」で、 原価管理や損益管理の効率化と高度化を実現

「損益管理テンプレート」は、食品製造大手のマルハニチロが「mcframe原価管理」にて実践する原価管理／損益管理の手法と帳票をテンプレート化して提供するソリューションです。



原価管理／損益管理で実現した成果

成果1

損益分析に関する業務を省力化

実際原価のデータ集計・加工や帳票作成に費やしていた人手による膨大な時間を、原価計算と定型帳票の作成を自動化することで省力化し、業務負荷をかけずに多彩な損益情報の可視化を実現。複数の工場間共通でシステム導入したことで原価管理の業務を標準化し、工場の網羅的なデータを用いて横断的に差異を把握することが可能になりました。

成果2

損益管理のPDCA基盤の獲得

ユーザの利便性を優先させ、あえてExcelのワークシート上で損益シミュレーションを容易に行える帳票を新たに作成。帳票作成時間を省力化したことで、データ分析や対策検討に注力できる環境が整いました。工場の現場で業務改善に役立つデータから経営層までもが利用できる多彩なダッシュボード機能を構築し、改善活動が行いやすい環境でPDCAサイクルを回せるようになりました。

テンプレートとして享受

「損益管理テンプレート」の特長とメリット

mcframeの 原価管理をフル活用

製造業向けの原価管理システムとして実績豊富な「mcframe原価管理」の標準機能をフル活用することで、さまざまな部門においてメッシュの揃ったデータ分析が可能となり、各種分析資料の作成をタイムリーに行えるようになります。

他社の成功事例を そのまま享受

マルハニチロの改革構想が形となり実現したベストプラクティスをテンプレートとしてご提供します。原価管理で業務改革を実現した同社と同じ体験ができ、今まで気づかなかった新たな視点に気づくことができます。

短期間での システム導入・構築

大きな改善が得られた分析切り口による原価管理方法を参考にすることで、目指す改革業務の理想像をイメージしながらシステムの導入を行います。要件定義で決めることがはじめから明確となっており短期で導入することができます。

「損益管理テンプレート」が提供する豊富な帳票

「損益管理テンプレート」では、予算策定や予実差異分析などさまざまなシーンや用途に利用できる帳票を多数用意しています。多数のExcel帳票をシステムから容易に出力することで、月次といった短いスパンでの原価データ把握とそれを踏まえた対策を実行できます。以下が代表的な帳票の例です。

帳票例1

生産工場ダッシュボード



手作業を伴わず容易に複数工場のデータを可視化

帳票例2

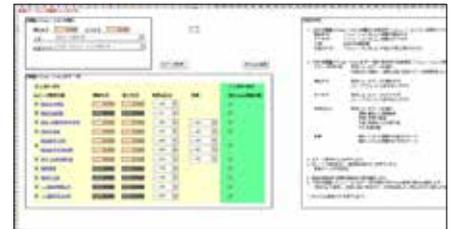
工場レポート



製品ごとの予実や詳細レベルの損益分析が一目でわかるレポート

帳票例3

損益シミュレーション



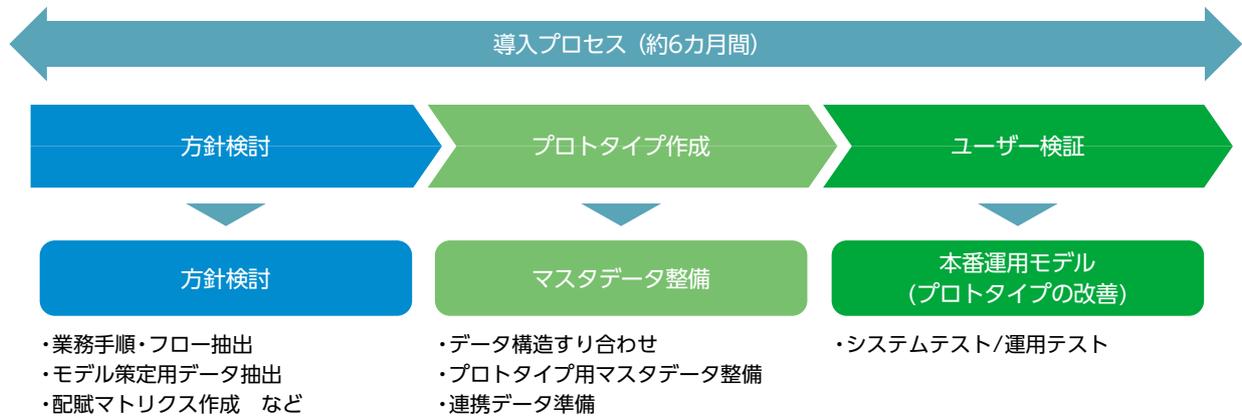
システムを用いずExcel上で「損益シミュレーション」が可能に

損益管理テンプレートで提供する帳票一覧

- 予算原単位表
- 事業管理損益表
- 生産管理損益表
- 単品別損益表
- 生産工場ダッシュボード
- 工場レポート
- 原材料差異分析
- 直材差異分析
- 比例経費差異分析
- 賃率能率差異分析
- 損益シミュレーション

導入のプロセスについて

まずは「mcframe原価管理」の導入を行いながら、現状業務やToBeとのギャップを分析し、定型帳票の有無などを確認していきます。方針検討では、代表的な品目のデータを用いながら、配賦方法など基本的なマスタを設定。次にプロトタイプデータを作成し確認を行いながらデータを整備していき、ユーザー様の検証サポートを行ってスムーズなサービスインを目指します。標準的な原価管理導入とは異なりテンプレートがあることで、モデル策定時に指針を打ち出しやすくなるのが特長です。



「マルハニチロ生産管理システム業務改革事例」をご提供

「損益管理テンプレート」をご契約のお客様には、マルハニチロが実際に行った業務改革をベースとした「マルハニチロ生産管理システム業務改革事例」をご提供します。どのような構想をもとに業務改革を行ったのか、構想の全体像から導入効果までを紹介した資料を、mcframe原価管理の画面から電子ドキュメントの形式にてダイレクトに閲覧できます。

第一章 新生産管理導入時の構想書【損益管理】

第二章 マルハニチロの損益管理

第一節 損益管理の考え方

第二節 損益管理帳票①～⑫

第三節 損益管理全体業務フロー

第四節 導入効果

- (1) 新生産管理システム導入効果
- (2) 間接業務の標準化効果
- (3) 管理帳票作成時間削減効果
- (4) 見える化領域の拡大



ホームページにも詳しい情報を掲載しております

mcframe原価管理オプション「損益管理テンプレート」の導入ご相談・お問い合わせも以下からご連絡ください。

▶▶▶ https://www.canon-its.co.jp/products/mcframe_cost/plmanagement_template/

mcframe原価管理の「短期導入ソリューション」も提供

予算原価に対して正しい改善のアクションを行うには正確な「実績」のデータが必要です。キャノンITソリューションズでは、実際原価を精緻に把握できる仕組みを“短期間”で構築したい、とお考えの企業様へ提供しています。

詳しくはこちら ▶▶▶ https://www.canon-its.co.jp/products/mcframe_cost/

Canon キヤノン IT ソリューションズ株式会社

〒108-0075 東京都港区港南2-16-6 CANON STOWER TEL (03) 5730-7929 <https://www.canon-its.co.jp>

キャノンITソリューションズ株式会社は、ビジネスエンジニアリング株式会社が提供する「mcframe」のライセンス販売およびインテグレーションを行う「ビジネスパートナー」です。本資料に記載されている「マルハニチロ」は、マルハニチロ株式会社の会社名です。

2021年5月現在